

令和06年12月（第4回）岩倉市議会定例会

一般質問通告要旨

1 水野 忠三 議員

1 国による税制改正等について、本市との関わりを中心に問う

(1) 今年度（2024年度）の税制改正等に関連して問う。

- ① 定額減税及び低所得者に対する給付措置について、概要並びに本市における現状及び課題は。
- ② 子育て支援拡充と扶養控除について、概要並びに本市における現状及び課題は。
- ③ 住宅ローン減税限度額引下げ及び子育て世帯に対する優遇措置の継続について、概要並びに本市における現状及び課題は。
- ④ ひとり親控除の拡充について、概要並びに本市における現状及び課題は。
- ⑤ 交際費特例措置拡充及び（中小企業支援策としての）賃上げ促進税制の強化について、概要並びに本市における現状及び課題は。
- ⑥ 暦年課税制度及び相続時精算課税制度の見直しについて、概要並びに本市における現状及び課題は。また、市民からの相談等は。
- ⑦ 相続登記の義務化について、概要並びに本市における現状及び課題は。また、市民からの相談等は。

(2) 来年度（2025年度）の税制改正等に関連して問う。

- ① いわゆる「103万円の壁」の問題と地方税収への影響など、来年度の税制改正に向けた議論等について、現時点での認識及び見解は。
- ② 今後、国や愛知県などに対して、本市としても働きかけや要望等は必要ないか。

2 本市の行政に対する分析及び評価等について問う

- (1) 本市の行政に対する分析及び評価等について、これまでの経緯、現状及び課題は。
- (2) 3C分析及び4C分析に関して、認識及び本市での利活用等についての見解は。
- (3) PEST分析に関して、認識及び本市での利活用等についての見解は。
- (4) SWOT分析及びクロスSWOT分析に関して、認識及び本市での利活用等についての見解は。
- (5) VRIO分析に関して、認識及び本市での利活用等についての見解は。
- (6) より適切な行政分析及び行政評価を目指して、今後について問う。

3 今後の科学技術面に関する社会の進展と本市との関わりについて問う

- (1) 「世界はEV推進政策の転換期へ」と言われることがあるが、認識及び見解は。
- (2) 自動運転等について、現時点での認識及び将来的に本市に導入していく場合の課題等は。

- (3) 日本国内の電力不足をめぐる議論等について、認識は。また、一部の識者から「太陽光パネルこそ環境汚染」と指摘されることがあるが、本市としての見解は。
- (4) 水素と燃料電池について、認識は。また、将来的に、水素自動車等を公用車として導入する場合の課題等について、見解は。
- (5) 未来は無限の可能性を秘めていることを前提に、本市としての今後の「関わり」について問う。

4 本市における行政と市民とのコミュニケーションについて問う

- (1) 行政と市民との円滑かつ「より良い」コミュニケーションの必要性及び重要性について、見解は。
- (2) 市民から評価されないコミュニケーションと評価されるコミュニケーションについて、認識及び見解は。
- (3) 「雑談力」ということが言われることがあるが、認識及び見解は。
- (4) 「伝わる話し方」について、認識及び見解は。
- (5) 市民から誠実な仕事ぶりを認めてもらい、信頼感を醸成するために必要なことは。
- (6) 反対意見の上手な伝え方について、認識及び見解は。また、いわゆる「否定しないコミュニケーション」についてはどうか。
- (7) 理不尽な要求等を突きつけられた場合の、行政としての対応及び交渉等について、見解は。
- (8) 市民とのさらなる「より良いコミュニケーション」を目指して、今後について問う。

2 木村 冬樹 議員

1 本当に保険証を廃止してしまっても大丈夫か

- (1) 本市の国民健康保険と後期高齢者医療制度におけるマイナ保険証によるオンライン資格確認の利用状況はどうか。
- (2) 市内の医療機関では、トラブル等は起きていないのか。
- (3) 本市の国民健康保険と後期高齢者医療制度におけるマイナ保険証の登録解除の状況はどうか。
- (4) マイナンバーカードの更新に不安がある市民にマイナ保険証の登録解除ができることを周知すべきではないか。
- (5) 資格確認の方法が9パターンとなると言われているが、市民への周知をどのように行っていくのか。
- (6) 自治体独自の公費負担医療制度の取扱いはどうなっていくのか。
- (7) 国保税滞納世帯・後期高齢者医療保険料滞納者への特別療養費の取扱いについて、国はどのように通知しているのか。
- (8) 本市は、本当に保険証を廃止しても大丈夫だと考えているのか。

2 認知症高齢者も安心して暮らせるまちを目指して

- (1) 共生社会の実現を推進するための認知症基本法をどのように受け止め、認知症施策推進基本計画等の策定についてどのように考えているのか。
- (2) 東京都練馬区の認知症支援事業を参考にすべきではないか。
 - ① 認知症なんでも相談窓口
 - ② もの忘れ検診
 - ③ 本人ミーティング
 - ④ 悩みを共有できる交流会
 - ⑤ N-impro（ニンプロ）

3 PFAS問題への対応はどうなっていくのか

- (1) PFAS規制強化を検討している国の動きをどう見ているか。
- (2) 岩倉団地配水場をはじめ、PFAS検出の水源への対応をどう考えているのか。
- (3) 地域住民のPFAS血中濃度検査への助成を行うべきではないか。

3 榎谷 規子 議員

1 洋式トイレを早く全学校に

- (1) 現状をどう把握しているか。
- (2) 順番に整備されてきているが、計画完了予定はいつか。
- (3) 体が不調になる前に、整備のスピードを早め、緊急に。
- (4) 汚い等解消のために清掃専門業者に定期的な委託を。

2 白杖による歩行訓練で安心して外へ

- (1) 視覚に障害がある方の実態をどう把握しているか。
- (2) 専門職である歩行訓練士派遣の予算を。
- (3) 音響信号機の点検、修繕と新設を求める。

3 市民生活に欠かせないごみ収集の業務を考える

- (1) ごみ収集業務の現在に至るまでの体制・考え方を改めて問う。
- (2) 2003年（平成15年）から始まった民間委託についての市長答弁の確認を。
- (3) 技能労務職についての取組方針はどのように決められたのか。
- (4) 組合の合意、議会での説明はされてきたのか。
- (5) 環境員の年齢構成等から今後の体制をどう考えているのか。新規採用はできないのか。
- (6) 公の業務としての在り方をどう考えるか。
- (7) ひとり暮らしの高齢者・障害がある方の個別収集の必要性を問う。

4 補聴器購入の助成を

- (1) 早期に装着する必要性は共通の認識になったが、助成についての検討はどう進んでいるのか。
- (2) 聴力検査についての検討はどうか。

4 片岡 健一郎 議員

1 本市のイベント開催時における喫煙所設置状況について

- (1) 改正健康増進法の全面施行により、本市の喫煙環境はどのように変化したか。
- (2) 本市主催のイベント開催時における喫煙所の設置状況及び近隣市町の設置状況を問う。
- (3) イベント開催時に喫煙所を設置しないことで喫煙マナー悪化等の課題が考えられるが、本市が喫煙所を設置していない理由は何か。
- (4) 民間企業（たばこ会社）の活動を利用して、イベント開催時に喫煙スペースの設置と管理を依頼してはどうか。

2 本市における犯罪被害者への支援の現状について問う

- (1) 本市における犯罪被害者の実態はどうか。
- (2) 本市が行う犯罪被害者への支援の現状について問う。
- (3) 犯罪被害者等基本法（第5条）への本市の現在の対応状況はどうか。
- (4) 近隣市町の犯罪被害者等支援条例の制定状況や救済内容はどのようなか。
- (5) 市の責務を明確化するために本市も犯罪被害者等支援条例を制定すべきではないか。

5 鬼頭 博和 議員

1 地域公共交通の改善について

- (1) ふれ愛タクシーの現状は。
- (2) ふれ愛タクシーの課題は。
- (3) ふれ愛タクシーの改善に向けての検討は。
- (4) 宮城県石巻市で始まったコミュニティ・カーシェアリングの取組を本市でも検討してはどうか。

2 GIGAスクールタブレットの更新について

- (1) 来年度、何台程度のタブレットを更新するのか。また、買取方式かリース方式のどちらかを予定しているのか。
- (2) 現在利用しているタブレットはどのように処分するのか。
- (3) その際のデータ消去に対する認識はどのようなか。
- (4) タブレットが変わることで、データの引継ぎなどはスムーズに行えるのか。
- (5) 児童・生徒にとって、新しいタブレットの使用方法など問題はないのか。

- (6) 新しいタブレットにSNSを使った相談アプリの導入を。
- (7) 教員に対するICT支援員の対応状況はどのようなか。

6 日比野 走 議員

1 石仏グラウンドについて

- (1) 完成後の管理管轄はどうか。
- (2) 利用者数の見込みは。
- (3) 本市外からの利用も見込まれるが、当局はどのように考えているか。
- (4) グラウンド利用に関する市民からの要望等は聞いているか。
- (5) 石仏グラウンドを活用した本市でのイベント開催を考えてはどうか。

2 生徒主導型学習と教師主導型学習について

- (1) 令和6年度の研究発表会を行っての反響はどうか。
- (2) 令和6年度の研究発表会での対談や、協議会の中で得られた課題等はあるか。
- (3) 生徒主導型学習を進めていく上での、本市の教育部の役割は。
- (4) PISAの数値の推移について当局はどのように捉えているか。
- (5) 生徒の基礎学力と未来をよりよく生きていく力を両立させていくには、どのような教育環境づくりを行っていくべきか、教育長に問う。

7 堀江 珠恵 議員

1 子どもたちの健全な環境づくりについて

- (1) 子どもと親の相談員への児童・生徒の相談件数はどれくらいか。また、保護者・教員の相談件数は。
- (2) 保護者の学校への相談件数はどれくらいか。
- (3) 相談員を設置することで、教員への日常業務の負担に変化はあったか。
- (4) 保育士が保護者対応に困った場合の相談する場所はあるか。
- (5) 社会環境が多様化、複雑化する中で、奈良県天理市のような問題解決のための支援体制の取組を取り入れてはどうか。

8 井上 真砂美 議員

1 ゼロカーボンチャレンジについて

- (1) 温室効果ガスの「排出する量」と「吸収する量」を同じにするとどのようなことか。
- (2) ゼロカーボンチャレンジ6「通勤・通学に公共交通機関を使う」とあるが、「徒歩や自転車を使う」を括弧書きで加えてはどうか。

- (3) ゼロカーボンチャレンジ14「アルコールとたばこを控える」はゼロカーボンとどのような関係があるのか。
- (4) ゼロカーボンを達成するための具体的な行動は、ゼロカーボンチャレンジシートのほかにどのようなことが考えられるか。

2 庁舎内における子育て支援の授乳室の設置について

- (1) こどもまんなかアクションプランに照らして1階に絵本と子どもコーナー、6階におもちゃコーナーがある。庁舎内の授乳する場所についてはどのような考えか。
- (2) 出産後、授乳期間があるが、授乳について非常に苦労するという声がある。女性の活躍促進の一環としても、庁舎内に授乳室があるとよいと思うが、設置への考えはいかがか。

3 夢さくら公園休憩棟2階のじゅうたんが敷いてある部屋や授乳室用の小部屋をさらに利活用してはどうか

- (1) 利用状況はいかがか。
- (2) 鍵の貸借や返却方法で不便になっているが、解決はしたのか。電子錠設置についてはどのようなになっているのか。
- (3) 2階の西側に手洗い場と授乳室として利用できる小部屋があるが、現状の利用はどのようなか。
- (4) ベビーベッドや授乳用の椅子を置くなどして子育て支援としてさらに利活用してはいかがか。

4 交通弱者の移動手段について

- (1) 運転免許証を返納した後の移動手段を心配している高齢者が多い。ふれ愛タクシーの利用についての条件はどのようなか。
- (2) シニアカーの利用についての条件はどのようなか。
- (3) 高浜市では「AIオンデマンドバス」を運用し、交通弱者の移動手段を考えているということだが、本市の運用についての考えはいかがか。

9 塚崎 海緒 議員

1 義務教育における不登校児童・生徒の現状について問う

- (1) 不登校生徒数はどうか。
- (2) 年間出席日数が0日から10日以下の児童・生徒数はどうか。

2 児童・生徒への支援について問う

- (1) 岩倉市の不登校支援について問う。
- (2) ICTの学習活動による指導要録上出席扱い等実績はどうか。
- (3) タブレットを有効に活用できているか問う。
- (4) 公共施設にフリーWi-Fi設置を。

3 保護者への支援について問う

- (1) 保護者への支援の現状はどうか。
- (2) 保護者が様々な支援に繋がるためのガイドが必要だと考えるが、現状で十分と考えているか。

4 にぎわいあるまちづくりについて問う

- (1) 岩倉駅ロータリーの管轄はどのようになっているか。
- (2) 駅イルミネーションについて岩倉市と近隣市町の運営状況はどうか。
- (3) 岩倉駅東口のイルミネーションについて市はどう考えているか。
- (4) 防犯・市民福祉・にぎわいづくりのため支援拡充を。

10 梅村 均 議員

1 舗装・側溝整備予算の確保を

- (1) 行政区からの要望状況に変化はあるか。
- (2) 道路パトロールは行われているか。効果は。
- (3) 舗装・側溝の整備予算が減少している要因は具体的に何か。
- (4) 舗装修繕計画どおり遂行されているか。
- (5) 道路のユニバーサルデザインに課題があるとの記述について今後の方針は。具体的な整備予定は。

2 市街地無電柱化への計画的な取組を

3 財政負担を考慮した管路耐震計画の見直しを

- (1) 管路耐震化整備の目的は。目標値と現状は。
- (2) 神野交差点付近で発生した水道管破裂対応にかかった費用は。
- (3) この破裂した水道管と同じ年代及びそれ以前に布設した管はどのくらいあるか。
- (4) 老朽化による破裂が予測されるのであれば、計画を早めるべきではないか。

4 魅力ある公園・トイレづくりに向けて

- (1) 公園、児童遊園、路上にある公衆トイレ等へのネーミングライツ導入にチャレンジしてはどうか（命名権無料でも維持管理費を依頼してはどうか）。
- (2) 夢さくら公園を桜の名所にしてはどうか。

11 大野 慎治 議員

1 市役所開庁時間の短縮について問う

- (1) マイナンバーカードの普及率の向上に伴う、証明書等のコンビニ交付件数の推移は。

- (2) 開庁時間の短縮についての課題は。
- (3) 朝15分及び夕方15分開庁時間を短縮するべきではないか。

2 石仏公園整備の課題について問う

- (1) 現状について問う。
- (2) 石仏公園整備に関する防災・安全交付金の交付率は。
- (3) 来年度の防災・安全交付金の交付率の見込みは。
- (4) 実施計画段階における事業費744,463千円を単年度で施工することは困難ではないか。
- (5) 来年度は、サッカーグラウンド整備及び駐車場を最優先に施工するべきではないか。

3 五条川小学校区統合保育園整備の課題について問う

- (1) 令和7年度の造成工事の内容と工期は。
- (2) 令和8年度に計画されている建築工事1,112,844千円は単年度で施工することは困難であるため、令和7年9月議会又は12月議会初日に議会承認を得るべきではないか。

4 岩倉市自転車活用推進計画（案）の課題について問う

- (1) 高校の自転車通学路は岩倉総合高校・一宮南高校・小牧南高校の調査のみで、なぜ大成高校・西春高校は含まれていないのか。
- (2) 中学校の自転車通学路についての調査は、なぜ含まれていないのか。

12 須藤 智子 議員

1 災害に対する防災・減災意識の啓発及び向上を図るために

- (1) 防災活動を担う人材を育てるために、岩倉市としてどのようなことを行っているのか。
- (2) 市民の防災・減災意識の普及啓発のため、岩倉市として行っている事業はどのようなものがあるのか。
- (3) 防災コミュニティセンターの位置づけはどのようなか。
- (4) 「岩倉防災ボランティアの会」の協力を得て、防災コミュニティセンターを防災展示室・体験講座・防災学習講座を行う場所にしてはどうか。
- (5) 東京都練馬区の「防災カレッジ事業」をどのように捉えるのか。

2 インフルエンザについて問う

- (1) 今年は11月上旬にインフルエンザが全国的な流行シーズンに入ったが、岩倉市での現状と対応策はどのようなか。
- (2) インフルエンザ予防接種費用について。
 - ① 令和6年10月1日から行っている子ども・妊婦の方の一部助成金の内容は。

- ② 中学3年生及び高校3年生の年齢に相当する方の助成金の内容は。
- ③ 65歳以上の方の助成金の内容は。
- ④ 医療機関により接種費用が違うが、助成金是一律なのか。

13 谷平 敬子 議員

1 行政のデジタル化について

- (1) 行政手続きのオンライン化の進捗状況はどのようなか。
- (2) 庁内事務のデジタル化の取組の状況は。
- (3) 庁内事務の効率化に向けたノーコードツールの導入についての検討を。

2 自転車運転のマナーについて

- (1) 自転車に関する道路交通法の改正について、内容はどのようなか。
- (2) 罰金が科せられる危険な行為はどのようなものか。
- (3) 自転車に関する道路交通法改正の広報活動の推進を。
- (4) 高校生の自転車用ヘルメット着用率向上への取組は。
- (5) 自転車通行帯の整備はどのようなか。